

第5学年2組 国語科 学習指導案

実施期間 令和〇年〇月
指導者 〇〇 〇〇

1 単元の構想

物語を読んで考えたことが聞き手に伝わるように、朗読で表現しよう 「大造じいさんとがん」

子どもの姿	人物の心情や性格、情景描写など物語に描かれた複数の表現を合わせて登場人物の人物像を想像しようとしている。 普段の読書生活において、物語に描かれた情景描写や人物描写等を関連付けて読み、物語を楽しみながら読もうとしている。		
単元終了後の姿			
単元の目標	知識及び技能 ① 文章を朗読することができる。(1)ケ	思考力、判断力、表現力等 ① 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。C(1)イ ② 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。C(1)エ ③ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。C(1)オ	学びに向かう力、人間性等 ① 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとしている。
目標に向かうための手立て	○「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」 【めあて】 児童が必要感をもって学習に取り組むことができるよう、児童が立てた「問い」から授業で解決したいことを出し合い、それらを基に毎時間のめあてを設定していく。 【振り返り】 児童が自分のタイミングで、学習内容を振り返ることができるように、授業支援アプリを活用したポートフォリオ形式の振り返りを行う場を設定する。 【対話】 児童が自由に書き込みができる「書き込み教科書」を作成し、随時自分の考えた内容を書きためていくことで、自分の考えと根拠をセットにして話し合うことができるようにする。		
子どもの実態 35人	①音読をする際、声の大きさや話すスピードに気をつけて読むことはできるが、思ったり考えたりしたことを、表現性を高めて伝える「朗読」の経験はほとんどない。	①登場人物の心情について複数の根拠を関連付けて読んだり、情景描写の解釈を交流したりする活動への抵抗が高い児童が3割程いる。 ②複数の観点から読んだ内容を関連付けて、物語の全体像を読む学習経験はほぼない。 ③物語を読んだことを生かして言語活動に意欲をもって取り組もうとする児童が8割程度いる。	①学習に対する積極性が高い児童が8割以上いる反面、図書館で本を借りる月平均冊数は1.8冊に留まっている。

単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①読者として、自分が思ったことや考えたことを踏まえ、朗読しようとしている。	①「読むこと」において、登場人物の気持ちや性格、登場人物の関係について、描写を基に捉えようとしている。 ②「読むこと」において、大造じいさんの人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしようとしている。 ③「読むこと」において、文章を読んで理解し、自分の考えをまとめようとしている。	①これまでに学習したことを振り返って、表現の工夫や情景描写の考え方を明確にし、学習の見通しを持って、積極的に人物像を想像し、朗読で表現することができる。

指導と評価の計画（8時間取り扱い ●本時4/8）

課題等	次	時	主たる学習活動	評価する内容と方法等
読み取った大造じいさんの人物像が聞き手に伝わる朗読をしよう	1	1	○単元の学習の見通しを立てる。	
	2	6	○4つの場面に描かれた大造じいさんの人物像を想像し、朗読に活かすようにする。（うなぎ釣り針の計略・たにしの計略・おとりの計略・残雪が飛び立つ場面） ●おとりの計略の場面から、大造じいさんの気持ちを想像し、朗読に活かすようにする。 ○大造じいさんの人物像について考える。 ○物語の全体像を基に、最も印象に残った場面を選び、朗読の練習をする。	【思】①ノート・発言 書き込み教科書 【思】②ノート・発言 授業支援アプリ 【思】③ノート・発言 授業支援アプリ 【主】①ノート・発言
	3	1	○自分が読み取った大造じいさんの心情や人物像が聞き手に伝わるように、朗読を行う。	【知】①発言・ノート 朗読

2 本時の授業計画

(1) 本時の目標

「銃をかたにあてて、残雪をねらった」が銃をおろした大造じいさんの心情について考えたことを生かして、第3場面の朗読の仕方を工夫することができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT 機器等
導入	5	1. 前時の振り返りを行い、めあてを設定する。	○大造じいさんは今までにどんな計略をしてきましたか。 ・うなぎ針・たにし・おとり ○おとりの計略とはどんなものでしたか。 ・捕まえていたガンを使う。 ○この場面みなさんが考えた問いは何ですか。	○今までの計略について読んだことを壁面に掲示しておく。 ○前時の振り返りをもとに指名していく。 ○児童の問いをから、本時のめあてを設定する。	・教室掲示 ・授業支援アプリ(振り返りシート)
展開	20	2. なぜ大造じいさんは、かまえていた銃を下ろしたのか考える。 (1)一人で考える。 (2)班での共有を行う。 (3)全体での共有を行う。	○なぜ、大造じいさんは構えた銃を下ろしたのでしょうか。 ・残雪が空を横切ったのを見て銃を下ろしたんだね。 ・大造じいさんはこれまで残雪への見方を変えてきた。そのこととつなげて考えると… ・銃を下ろした後に見た残雪の行動から、自分の命が危険にさらされても、頭領としての威厳を守り抜こうとする生き方に尊さを感じたんだよ。	○書き込み教科書に自分の考えを書き込むよう声かけし、根拠を明確にして話し合うことができるようにする。 ○全員が対話に参加できるように、友達の発言につなげて話すことを意識できるようにする。	・挿絵 ・書きこみ教科書 ・つなげる言葉の掲示
	10	3. 読んだことを生かして、第三場面の朗読の仕方を工夫する。	○大造じいさんの気持ちを読んだことを生かして、朗読の工夫ができる部分を書き込み教科書に書き込もう。	◎【思】③ 銃を下ろした時の大造じいさんの心情を生かして、朗読の仕方を工夫している。	
終末	10	4. 今回の学習を振り返る。	○今日、自分が学んだことを生かして、朗読の仕方の工夫について考えることができましたか。	○ポートフォリオ形式の振り返りにより、今までの自分の考えと比較できるようにする。	・授業支援アプリ

☆ この学習指導案は、R2年度版の教科書を基に作成しています。

1 単元の構想

今の思いをタイムカプセルに残そう ―15年後の私へ― 「レモン哀歌」「生ましめんかな」

単元終了後の児童の姿	15年後に自分が読むことを想定し、2編の詩から学んだことや気付きと関連付ける文章を書くことを通して、「生きることはどういうことか」について考えている。 2020年の社会情勢や中学2年生である今の自分を振り返ったり、これからの将来を展望したりすることで、詩の持つ	知識	考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
------------	---	----	-------------	--------------

ポイント

単元(題材)終了時の児童(生徒)の姿

・学習後、本単元で培った力をこれからの国語や他教科の学習、実生活、将来にどのように生かそうとする子どもを育成したいかを書く。

【文末表現例】

「…ようとしている」「…考えている」等

【対話】 着眼点を生かしたグループをつくり、ロイロノートを使って進捗状況を確認し合ったり、解釈を吟味し合ったりすることを通して、交流を促し、課題の解決に向かうことができるようにする。	①事前のテストによると、約7割の生徒が詩を分析する際に使用する学習用語を知っているが、体系化付けられていない。 ②詩歌や小説等の文学的な文章を学ぶ意義について疑問に思っている生徒が半数以上いる。	①分析の着眼点や表現技法を知識として理解している生徒は多いが、作者の意図や表現の効果まで考える生徒は若干である。 ②26人が、「生き方や社会に関する意見をもち、まとめることが苦手だ」と答えている。	①言葉の文脈上の意味や表現技法の効果等について、意見をもち、抵抗感を感じる生徒は若干いる。 ②クラスメイトから意見をもらい、助言を受け、まとめることができていた。
--	--	---	--

ポイント

単元(題材)の評価規準

- ・「思考・判断・表現」の文頭には、領域名を明示する。
- ・「知識・技能」「思考・判断・表現」とともに単元の目標を、子どもと共有できる表現に書きかえる。

単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的な学習態度
①2つの散文の特徴について学習用語を正しく使い、説明している。 ②自分の生き方や社会とのかかわり方を支える詩を読む意義と効用について理解している。	①「読むこと」において、詩の構成や展開、表現の仕方について評価している。 ②「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、生き方などについて、自分の意見をもち、まとめている。	①積極的な発言や質問ができる。

指導と評価の計画(6時間取り扱い ●本時4/6)				
課題	次	時	主たる学習活動	評価する内容と方法等
『生ましめんかな』について、二編の詩から考えたことを未来へ残そう。	1		課題を知り、見通しを持つ。を振り返り、学習用語を整理する。	【主】① Yチャートのシート(ロイロノート)
	2			
	3			

ポイント

課題
資質・能力を育成するために効果的で、主体的な学習につながる言語活動を設定する。

- 本時の授業
 - 本時の目標
『レモン哀歌』『生ましめんかな』の表現効果や役割について、類似する表現と比較したり、複数の根拠を関連付けたりして捉え、考えをまとめることができる。
 - 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT機器等
導入	10	1 前時の振り返りをし、本時のめあてを共有する。	○前時のワークシートを読み合い、気づきを発表しよう。	○前時の振り返りから疑問点や意見の相違を引き出し、めあてへつなげる。	ロイロノートの共有
		印象深かった表現について、なぜ作者はあえてこのような表現にしたか、それはどのような効果を及ぼしているかを考えよう。			
展開	5	2 印象深かった表現について、問いをつくり、解決への手がかりとなりそうな部分に見当をつける。	○気づきを①～④に整理して、問いをつくらう。		ロイロノート
	20	3 設定した問いについて、自分の考えを書き、交流する。 (1)自分の問いに対する答えを書	○「なぜ、『レモン哀歌』を『天のものなる』と修飾したのか。」 ②語句の並び順序「なぜ、『生ましめんかな』という修飾語の組み合わせなのか。」 ③表記「なぜ、後半3行が…」 ④表現技法「なぜ、『トパツ」		

ポイント

本時の評価
「Bと判断する状況」を具体的に明示する。

○【思】① 作者の工夫やその効果について、複数の根拠を関連付けて書きこんでいる。	○教師主導のまとめを避けるために、振り返りの記述を拾い上げて整理する。	ロイロノート(音声入力)
---	-------------------------------------	--------------